

■令和7年度使用 中学校（特別支援学校の中学校部を含む）用教科用図書の調査研究資料～数学～

調査項目	着眼点	調査内容	「調査項目」、「着眼点」の根拠
1 学習指導要領 (平成29年告示)	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> 「知識及び技能」の育成に関わって、単元内のまとまりごとの確認問題や単元末の確認問題の分量はどのようにあるか。 「思考力、判断力、表現力等」の育成に関わって、数学的に問題発見・解決する過程の取扱いはどのようにあるか。 「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関わって、数学のよさを実感できるように、どのような内容が取り上げられ、程度や分量はどのようにあるか。 全国学力・学習状況調査等で岐阜県の課題とされている内容の取扱いはどのようにあるか。 	(1)中学校学習指導要領解説総則編（P35） 各教科等の指導を通して育成を目指す資質・能力の観点 ①知識及び技能の習得 ②思考力、判断力、表現力等の育成 ③学びに向かう力、人間性等の涵養
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> 学び直しの機会に関わる内容の取扱いはどのようにあるか。 	(2)中学校学習指導要領解説総則編（P49） 各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 深い学びの視点から、数学的な見方・考え方について、どのような取扱いや構成上の特徴があるか。 	(3)中学校学習指導要領解説総則編（P7） 資質・能力の育成を目指し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めること
2 第4次岐阜県教育振興基本計画 (令和6年3月策定) [2024(R6)年度～2028(R10)年度]	(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	<ul style="list-style-type: none"> 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に関わって、主体的に学習を調整することにつながる教材や構成上の特徴はどのようにあるか。 	第4次岐阜県教育振興基本計画（P6） 施策II 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成
	(2) 生徒の学習改善や教職員の指導改善につながる学習評価	<ul style="list-style-type: none"> 学びを振り返り評価・改善しようとするために、どのような構成上の特徴があるか。 	(1)II-8 未来を創る基礎となり、社会で活きる学力の育成：「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（P26）
	(3) ICTを活用した学習活動	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動の充実に関わるICTの活用について、二次元コードはいくつ掲載されているか。活用に向けた構成上の特徴はどのようにあるか。 	(2)II-8 未来を創る基礎となり、社会で活きる学力の育成：教職員の指導改善・児童生徒の学習改善につながる学習評価の充実（P26） (3)II-9 ICTを利活用できる力の育成：資質・能力の育成に寄与するICTの効果的な活用（P29）
3 印刷・製本等	(1) 教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の総ページ数、重量はどのようにあるか。 	
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> 障がいその他の特性の有無にかかわらず、児童に読みやすいものになっているか（UDフォント、配色、レイアウト等）。 	
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 数学用語の索引数は、どのようにあるか。 	